

# 一層工夫した取り組みを！

## 第3回理事会発言集(後半)

### 第3回理事会報告

2012年2月5日(日)

ミオスで実施(参加者 35名)



2月5日 ミオス(赤塚駅前)で開催された、第3回理事会の議事録(後半)をまとめました。「さよなら原発4.1第集会in いばらき」の取り組みや、「3月17日(土)活動者交流集会」、また日常活動等の参考にしてください。

なお、議事録は、メモを元に起していますので、間違い等がありましたらご容赦願います。文責は木村です。

(水戸西) 政府が委嘱した原発事故に対する学者の検討委員会、保安委員会の検討項目の中に、「航空機」の視点が入っていない。茨城でいうなら、百里基地の存在が入っていない。百里基地の戦闘機訓練は東海第二原発の危険な状況を作っている。百里から沖縄に移ったF104戦闘機はたくさんの部品を落としている。百里基地の戦闘機の訓練空域は小美玉から北茨城の鹿島灘の空域になっている。米軍との共同訓練が入ると東海第二原発を中心に、原子力関連の施設が密集している場所になる。そこで訓練が行われれば、百里基地の戦闘機の危険性は無視できないのではないか。しかし百里基地の撤去はなかなか無理だ。荘であれば、東海原発をなくすためにも、航空機(戦闘機訓練)事故の問題を加えたほうがいいのか。

平和委員会として、戦闘機訓練と原子力施設の危険性を加えて出すべきだと思う。「想定外」として航空機事故が問題になる。西ドイツでは原発に小型機が衝突する視点はあった。今では「大型機が落ちて大丈夫」という対応をしている。日本ではマスコミも「地震とつなみ」しか考えられていない。事故は想定外で起きる。原子炉が心配なのは「地震とつなみ」だけではない。

「東海第二原発廃炉」署名を提出するに当たって、知事交渉を要請したので時間がかかった。県知事との交渉は多分持てないと思う。平和委員会としては、「なぜ、廃炉を求めるのか？」について、文書で提出すべきだ。時間があれば意見を出すことも必要だ。

(◎2月10日の署名提出に当たって、平和委員会として文書を提出しました。また意見を陳述もしました。詳細は「さよなら原発」のHPを見てください。50分にわたる動画が見られます)

4.1県民大集会については、期間が短い、少数の人で企画を検討し、実施に関しては全体の力を借りると言うようなことで進めていけばいいと思う。

(東海) 東海第二原発には使用済みの燃料棒が2,000本くらいある。原子炉の燃料棒の工場は三菱住友だ。日本原研の中には実験炉等の原子炉が3つ、旧動燃の中にはプルトニウムが40トンのがある。このように使用済み燃料が多量に集まっている。東海村やその付近は本当に大変な場所になっている。

平和委員会として特徴ある取り組みをすべきだ。米軍基地との関係をもっとわかるようにする必要がある。

(太田) 平和委員会として、原研の規模と、燃料棒の実態を明らかにしてほしい。

(友部) 地図上にプロットして、どこに何があるかをはっきり示してほしい。マスコミはぜんぜん報道しない。放射性物質の存在が危険であることを取りあげないことは問題だ。

(石岡) 政党を通して明らかにさせることはできないのか？

(友部) 県はデータを持っている。どの施設で、どのような物質を、どのくらい持っているのかという、記録もある。かなり細かく出ている。県の原子力対策課で資料をつくったりまとめたりして発行している。インターネット等でも公開している。

(石岡) 宜野湾市議会議員選挙では、防衛局沖縄局長が選挙に不当な介入をした。自公政権時代からやっていた。早急に理事会の決議をして、態度を厳しく決断する。不当な選挙介入は許せない。あるまじき行為として講義すべきだ。(2日後の2月6日 県平和委員会が、防衛省と沖縄防衛局に抗議文をFAXしました。)

「東海第二原発の廃炉」を、県内各自治体の3月議会に、

「請願」や「陳情」をやろう。知事の行動の背景には、土浦、取手、北茨城市議会で、「東海第二原発再稼働反対、廃炉に」の決議がなされている。地元や首長の反対の姿勢を無視できないのだろうと思う。県下一斉に請願や陳情の行動を起こす。石岡では請願の際、特定の政党が入る請願には、他の議員は「内容も見ないで却下」することが多い。今回は市民団体として陳情することを考えた。県平和委員会と連盟で陳情を提出する。

「県平和委員会20周年記念」開催では、「4.1県民集会」「5.3憲法フェスティバル」、6月は大会が予定されているなど、大きな取り組みが連続している。「5月～6月に連続して取り組むのは大変」ということで、提案した。

「4.1県民大集会」は水野代表理事から東京を含め、関東近県の人たちが集中して参加できるような対応を取ってほしい。東海原発が過酷事故を起したら関東全域に多大な影響が及ぶことははっきりしている。

(阿見) 関東近県への呼びかけは、平和委員会を通じて進めていく。また「東海第二原発を廃炉に」の署名が大切なので、引き続き取り組んでほしい。提出は4月を考えている。

(石岡) 音の出る宣伝が重要だ。署名は静かに潜行した運動だ。提出したときはマスコミ等でのインパクトはあるが、やはり街頭宣伝等が必要だ。東海第二原発が、「6月にも試運転がなされる」という話を聞いている。3月頃からキャラバンを組んで音の出る宣伝をすべきではないか。労働組合や市町村の議員の中で、東海第二原発の再稼働反対や廃炉を訴えている議員から街宣車を借りるなどして、音の出る宣伝に取り組むべきではないか。

(笠西) 「さよなら原発4.1大集会」の連絡先は実行委員会になっている。実行委員会に参加している労働組合は茨城労連だけなのだろうか？ 連合茨城はどのように関わっているのだろうか？ 昨年12月に、知事宛に「東海第二原発を廃炉に」署名を5万人提出したというが、5万人分の署名を集めた団体はどこなのか？ 平和委員会の集約数は少ないと聞いている。「東海第二原発を廃炉に」署名の提出を、多くの団体と一致して提出するのはいいことだと思う。具体的な運動どのように連帯してやるのかということとは別問題だ。具体的は運動を一緒にやるということについては、十分に考えたほうがいい。

平和かわら版 No. 619 (3月15日号) 別刷り

(1/2ページ)

# 広範な繋がりを生かして！

## 第3回理事会発言集(後半)

(花だいこん) 実行委員会に当初から参加していたので発言したい。4. 1県民集会実行委員会の事務局は茨城労連が中心になっている。実行委員会に参加する団体をできるだけ広げるといことを押さえて取り組んでいる。百里基地包囲行動でも3,000人ぐらいだったという。今回は5,000人の集会を呼びかけているのだから、参加団体を広げていくことが大切だ。多くの団体に呼びかけている。ただ、「集会を妨害するということは許さない」ことは決めている。

ツイッターなどを見たり書いたりして参加してくる場合、どのような人が参加してくるかはわからない。呼びかけ人もまだ数が少ないが、発起人の人大学教授や弁護士の人たちを中心に働きかけている。東海村の村上村長にも声をかけている。県内の全首長や議会議長にも賛同者の訴えを出している。医師会や農業、漁業、教育関係、文化人等にも賛同の呼びかけを進めている。

準備会は昨年11月に入ってすぐに立ち上がったが、いろいろあって、第1回実行委員会が成立したのは年が明けてからだった。「4月1日には無理だ」という話も出された。「やるしかないからやろう」では乱暴だったが、実際問題としてやるしかないということになった。皆さんの決意と協力をお願いしたい。また連合茨城には早い段階で呼びかけた。すぐに「参加できない」という断わりの返事もらった。

(水戸西) 「実際問題として4月1日にやり切れるのか」という疑問はあった。とにかく、「茨城労連を中心にやって行くのだから、力を入れてやろう」ということになった。茨城労連がナショナルセンターとしての役割を発揮し、民主団体と連携してやろうと言うことだ。平和委員会の提起である「団体賛同をして、賛同金3,000円」「個人賛同のワン・コイン=500円は、会員数を目標にやろう」「集会には各地域から大型バス1台は仕立てて参加しよう」ということだ。これくらいは頑張っているのではないか。土浦では大型バス2台を計画しているという発言もあった。

(美和緒川) 知事に提出する署名だが、平和委員会としてはどれくらいの署名数を目標としたのか。署名用紙に「平和委員会」という名称を入れなかったというが、事務局のやる気の問題だ。「取りまとめ団体 平和委員会」の名称が入ってなけれ

ば、集約した署名が他の団体に行ってしまうとしょうがない。今後は「平和委員会」の名称をきちんと入れてやるべきだ。平和委員会が参加するのだから、ホンの少しの数の署名提出で元気が出ない。たくさんの署名を集約して参加してくれ。

(回答) 会員一人当たり20筆。全体で2万筆という確認をしている。現在3,000筆弱だ。今回、理事会として「署名提出を共同で行う」ことが決まったので、2月10日の第2回に共同で提出する。また、署名用紙への「取り扱い団体 平和委員会」の印刷は、すでに実施している。いろいろ心配や迷惑をかけたことを率直にお詫びする。

(那珂) 東海村や周辺の自治体の住民に宣伝する。ポスターを作って貼ったり、チラシ配布を徹底してやる必要がある。

(友部) 4. 1大集会で、どのくらいできるのかは力量の問題だ。この理事会以後は時間の問題で、再度開催するわけにはいかない。問題があれば、お互いに連絡をとりながら進めたい。原発の問題では、いろいろな組織がそれぞれ取り組んでいる。「統一して運動を進める」ことだけに力を尽くしてしまうと大変なことになる。

しかし、平和委員会が日常に協力して運動している団体だけでは5,000人の参加者確保は厳しいと思う。しかし今回の「4. 1大集会」で実行委員会の中心メンバーは若者が多い。若者がやろうとしていることを応援するのは当然だ。どのように具体的に応援をするかが大事なことだと思う。

(石岡) 東海第二原発を廃炉に持って行くためには協力・共同でやるのが大切だ。「連合茨城」にも文書等で再度呼びかけたほうがいい。また、4. 1県民大集会を成功させるためには、水戸西の意見のように、各地域でバスを出す、賛助金も先行して取り組むこと必要だ。

(花だいこん) 「連合茨城」にはすでに断わられた。「連合茨城」に参加している各組合に対しては、「組合はそれぞれなので働きかけてもらってもよい」という返事もらっている。今後は各組合に働きかけることになる。

(石岡) 平和委員会は政党とは組織が違うが、東海第二原発の

廃炉を求めて運動している革新政党もある。各政党にも呼びかけたほうがいい。賛同する政党があれば一緒に運動を進めていくのほうがいい。記者クラブへの投げ込みなど様々な宣伝活動も重要だ。

(水戸西) 実行委員会に参加でききるような団体には、できるだけ早く連絡して、参加を促すことが大切だ。また、宜野湾市長選挙の支援はどのようにするのか。

(友部) 全体に訴えることがいいとは思いますが、時間的に無理だ。この理事会に出席した人の中でまとめたらどうだろう。個人でもいいし、地域でカンパできる場合ならその旨を話してもらえばいい。(2月6日、総額5万円のカンパと、寄せ書きを送付しました)

(笠西) 4. 1県民大集会は「かさま九条の会」を中心にして大衆的に取り組む。いろいろな人と共同していくためには、誰々はいいか、誰々はダメだとか言うと、運動が進まなくなる。平和委員会が出された意見としてはいいと思うが、「4. 1県民大集会」は大衆団体として取り組むことが重要だ。

(東海) 東海村の九条の会は「脱原発」のグループも入っている。そのような話で取り組んでいる。

(友部) 県民集会などの呼びかけをするいろいろな人が参加してくる。インターネット等で呼びかけた場合でも同じだ。集会の性格にもよるが、少ないとは言っても、中には暴力的な団体も参加してくる。運営上の問題も出てくる。議論するとさまざま問題は出てくるが、それを乗り越えるしかない。集会への参加はみんなで決めたルールを大事にして成功させていくことが求められる。

(水戸西) 笠西の意見はその通りだ。またツイッターで参加者を募るのであれば、よりそのとおりで、さいしょから選り好みはできない。しかし、何か起こるのではないかなどと恐れなくて、実際にやってみることが大切だ。

その他、百里公園「初午まつり」の参加と、百里基地における戦闘機の日米共同訓練に対する抗議行動等の討議を行い、5時に散会しました。

その後、赤塚駅(水戸線)近くで、夜遅くまで「新春懇親会」が行なわれました。